

8. 中国（地域別調査機関：（社）中国地方総合研究センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良くなっている	一般レストラン（店長）	それ以外	・電子マネーを導入しているが、これによる支払が3か月前と比較して数倍になって、クレジット会計も増加している。また客単価も3か月前に比べ100円前後アップし、来客数も2%アップしている。
	やや良くなっている	商店街（代表者）	販売量の動き	・ベビー子供服は12月の寒波から1月のバーゲンも含めて、客の購買意欲は高まり売上も伸びている。とはいえ5～6年前に比べると、まだまだ売上高ベースで6～7割といったところである。デフレ傾向・少子化傾向等は変わりなく苦戦は続けているが、悪いなりに明るい光が差してきた。
		百貨店（営業担当）	販売量の動き	・前月に引き続き、冬物の防寒衣料が良く売れている。その反面、後半は商材不足も起こっており、売上は月でみると例年並みとなった。
		百貨店（販売促進担当）	販売量の動き	・売上高でみると、物販はやや上向き程度であるが、飲食には対前年比較で約5%程度の伸びとなっている。
		百貨店（売場担当）	販売量の動き	・1月3日の初売りの売上が昨年を大きく上回り、その流れが続いて売上は好調だが、ミセスの集客が悪いのが少し気になる。
		百貨店（販売担当）	来客数の動き	・月初めからのクリアランスセールも気温低下の影響で、防寒アイテムを中心に好調に推移している。17日からのセールも客数が前年比105%と好調である。
		スーパー（店長）	単価の動き	・一品単価の下落が止まり、良い商品の動きが少し良くなり客単価のアップが続いている。
		スーパー（店長）	来客数の動き	・来客数は前年比86%、それに対して客単価は前年よりアップし、一人あたりの客の消費量は上昇している。ただし客数は減少している。
		衣料品専門店（地域ブロック長）	販売量の動き	・元日から福袋が好評で集客が多く大変にぎわった。また寒さにより防寒着・コート等が良く売れた。
		百貨店（営業担当）	来客数の動き	・初売りで好スタートをきり、来客数は前年5～10%上回っている。クリアランス商材を中心に販売額も増加しており、下旬には商材が不足気味の状況である。
		家電量販店（店長）	販売量の動き	・地上デジタル放送・オリンピック需要で、テレビの動きが良く、その分だけプラスになっている。
		家電量販店（店員）	来客数の動き	・地上デジタル放送が今年から始まるということで、AV商品に客が多い。
		乗用車販売店（販売担当）	販売量の動き	・新車の受注台数が前年を上回っている。エリア内全体でも総受注台数が前年対比120%程度で推移している。
		その他小売（営業担当）	販売量の動き	・売上単価は低くなっているが、販売量が上向きで全体を押し上げている。
		一般レストラン（店長）	来客数の動き	・既存店で集客が若干伸びている。客単価も上昇した。
		都市型ホテル（総務担当）	販売量の動き	・宴会、宿泊において、客単価が増加傾向にあり、また年末商戦であったクリスマスケーキ、おせち料理の売上が前年対比大幅に増加しており、総じて景気回復基調にある。
		タクシー運転手	販売量の動き	・昨年1年間の売上が十数年ぶりに前年を上回った。1月も売上は好調に推移している。
		競艇場（職員）	来客数の動き	・入場者の増加に伴い、販売量・売上が増加した。また、レジャーチャンネルを通じての電話投票が1月の正月レースで伸びた。
		美容室（経営者）	来客数の動き	・昨年後半より来店客数が増加傾向にある。以前に来店した客やしばらく来なかった客が再来店している。
		住宅販売会社（従業員）	来客数の動き	・来場者が、昨年12月に比べ約1割来場者が多くなっている。また、客自体の購買意欲も以前に比べると高くなりつつある。
変わらない	商店街（代表者）	来客数の動き	・大雪の影響もあったかと思われるが、商店街への来街者数は減少している。それに伴い閉店する店もある。	

商店街（代表者）	販売量の動き	・なかなか販売量が増加しないというのが、実感である。「買いたい」「欲しい」という意欲はみえるのだが、購入には至らない。客が慎重であるように見受けられる。
一般小売店〔家具〕（経営者）	販売量の動き	・中山間地域の景気の回復はまだまでであり、家具まで消費が回ってこない。
百貨店（販売促進担当）	お客様の様子	・初売りより福袋を展開した。300万円のじゅうたんが2本、100万円の宝石が3本など例年以上に高額品の動きが活発である。外商活動においても、美術、宝飾等の動きは回復してきており、一部の富裕層中心ではあるが、消費に回復感がみられてきている。
百貨店（売場担当）	お客様の様子	・年明けの福袋は過去最高の人出で、冬のクリアランスも、1～4日までは全館で2けた増という勢いがあった。しかし、3連休は期待に反して前年を割る状況で、20日を過ぎた段階で、累計で前年を割る商品群が出てきている。全社的にみても、1月は前年並みか前年を少し割るといった状況である。
百貨店（売場担当）	お客様の様子	・今月は冬物クリアランスということもあり、月中旬までは、衣料品・雑貨・食料品など好調に推移したが、中旬以降ミセスを中心とした衣料品が失速し、また食品も大苦戦を強いられている。12月から続く寒波で冬物需要がかなり先行した。
百貨店（購買担当）	お客様の様子	・今月上旬の初売りは、来客数も増加し売上も倍増した。しかし中旬以降、暖かくなってからは客が気温に左右されることもあるのか、クリアランスの商材の動きが鈍くなり、かといって春物の動きもまだまだである。特にリクルート関係のスーツは昨年に比べ、かなり厳しい状況である。ただし、母親の子供の付添い着等については、華やかな商品を求めたいという気持ちからか動きが良い。
スーパー（店長）	単価の動き	・1月度客単価において変化はない。ただし、野菜の高値で青果部門は、買上点数・一品単価・客単価はアップしている。また、今まで苦戦していた菓子についても、1品単価・点数で前年比をクリアしている。その他の部門ではまだ持ち直しができておらず、全体的には前年割れの状況が続いている。
スーパー（店長）	販売量の動き	・雪の影響で野菜の高値、また海も荒れ鮮魚の入荷等も少なく、それぞれの単価はアップしたが、販売数量が落ち込み、結果として売上増につながっていない。
家電量販店（予算担当）	販売量の動き	・秋口から上向きになってきており、その傾向は新年以降も変わっていない。新春の初売りは前年より上回ったものの、期待したほどの動きはなかった。中旬以降はほぼ計画どおり動いており、全体的に変化はなく上向く傾向が続いている。
乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・軽自動車・コンパクトカーは順調に推移しているが、普通車以上は前年割れで推移している。一部企業は良好ということであるが、肌で感じられるほど、良くはなっていない。
自動車備品販売店（経営者）	販売量の動き	・季節商品については前月の反動があるが、ETCやナビゲーション等は好調に推移しており、変わらず堅調という状況である。
住関連専門店（広告企画担当）	お客様の様子	・慎重で、かつ単価が低い客が目立つ。失敗しないようにとの思いは理解できるが、慎重すぎて購入に至らない客も多い。
高級レストラン（スタッフ）	単価の動き	・一般宴会については、あまり単価の動きはないが、婚礼については若干ながら単価アップの状況がみられる。ただし、全体的には変化はみられない。
都市型ホテル（経営者）	来客数の動き	・先月同様、雪の影響で客室部門は苦戦を強いられているが、料飲部門が順調に推移しているため、売上等は前年を上回る。
都市型ホテル（従業員）	来客数の動き	・レストラン総来客数はほぼ前年並みに推移している。
都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・1月はビジネス客の宿泊が少なく、団体の旅行客も前年並みである。
テーマパーク（財務担当）	販売量の動き	・来園者数こそ前年度を上回っているものの、売上がそれに伴っていない。

	設計事務所（経営者）	お客様の様子	・このところ受注契約件数が上がらない。問い合わせがあっても、その後の動きも悪い。
	設計事務所（経営者）	競争相手の様子	・受注物件が少ない。受注単価が非常に低い。
	設計事務所（経営者）	単価の動き	・収入の伸び悩みを受け、消費意欲はあるけれど費用を抑え無理はしたくないと考え、余力のある消費行動をとるので販売に結びつきにくい。
	住宅販売会社（経理担当）	お客様の様子	・モデルルームへの来場数、契約数とも前年比較で落ち込んでいる。客の購入意欲が低下している。
やや悪くなっている	商店街（代表者）	販売量の動き	・12月1月は例年になく天候が悪く、客足も遠のき販売量も減少している。
	スーパー（店長）	来客数の動き	・昨年未より、チラシの商品を当てのバーゲンハンターの客が増加している。チラシ投入日の客数は増加するが、チラシの無い日の客数は、前年比90%前後と苦戦している。冷え込みの野菜の相場高により、1品単価は昨年比110%くらいで上昇しているが、客数の減少に追いつかず、現状は非常に苦戦している。
	スーパー（総務担当）	単価の動き	・競合店の影響、商品安で単価が低下したまま販売点数が伸びないため、客単価が一向に上昇しない。
	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・正月休み明けも客数は回復していない。特に工事関係の客が減少している。
	衣料品専門店（販売促進担当）	販売量の動き	・先月、先々月と前倒しでかなり冬物が売れたのと、春物にはちょっと早いということで、様子見の客が多く、また来店客数そのものが若干落ち込んでいる。レディースは春物の動きも出てきているが、メンズのアウトターが落ち込んでいる。
	乗用車販売店（統括）	販売量の動き	・例年年明けから3月に向かっては需要があるので上向き傾向になるのが普通であるが、今年は12月と比べても伸びが少ない。来店も客の代替需要が少なくなっている。インターネットのアクセス数は増えているが購入に至らない。
	乗用車販売店（統括）	販売量の動き	・1月の販売量は前年比91.3%と大変厳しくなっている。特にコンパクトカーの販売量の減少が目立つ。
	スナック（経営者）	競争相手の様子	・正月休み、連休と続いたため、夜の飲食関係は良くなかった。今年は特に寒さの影響もあり、客は夜、外に出ないようだ。
	その他飲食[ハンバーガー]（経営者）	来客数の動き	・対前年で見ると、1月半ばから客数増加が鈍化し、前年を割る日も出てきた。
	タクシー運転手	単価の動き	・雪の日を除き、普段の日に関しては、依然として長距離の客が少なく、公共交通機関の利用者が多い。タクシーの利用者は短距離の客が多く、景気としては12月を除いて変わっていない。
	通信会社（社員）	販売量の動き	・3か月前と比較して、来客数・販売量ともにやや悪くなっている。
	通信会社（販売企画担当）	販売量の動き	・新商品が投入されておらず、競合他社の勢いに押されている。
	テーマパーク（業務担当）	来客数の動き	・1月に入り実際には雪の影響はないものの、大雪イメージが払しょくされず、引き続きエリア全体への出控え傾向が続いている。
悪くなっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・寒さのためバーゲンで重衣料等が売れたようだが、当社にとってはそれが裏目に出たようで、そちらに消費が向かってしまった。アパレルは多少良いが、その他は非常に悪い。
	商店街（代表者）	来客数の動き	・先月から一転して、悪くなった。暖かい日が続いたのと、隣の商店街アーケード改修工事のためである。
	一般小売店[印章]（営業担当）	それ以外	・1月7日の下関駅舎の大火により、多くの店が被災した。当店も全焼である。名店街本体は損害をまぬがれたものの、駅としてのテナント機能が半減した。大きな損害である。
	衣料品専門店（地域ブロック長）	販売量の動き	・11、12月の気温の低下で冬物が良く売れていたが、1月に入りその反動で、販売量が極端に低下している。
企業動向	良く なっている	-	-

関連	やや良くなっている	農林水産業（従業者）	それ以外	・3か月前と比較すると、水揚数量で1076tの増加、水揚金額で1億3690万円の増加である。原因は、沖合底引き船・中型巻き網船・イカ釣り船の増加によるものである。
		金属製品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・仕事量は豊富であり、高操業が続いている。懸念材料は原材料や原油が高止まりしていることである。
		電気機械器具製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・自動車関連・鉄道用半導体(国内・欧米)とも受注が好調で、ライン増強と新規人員採用をかけているが、全く人が集まらない。部材メーカーも忙しく材料供給も品薄状態で生産計画の達成が危惧される状況となっている。
		輸送用機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・モデルチェンジの製品があり、立ち上がりボリューム効果がある。
		金融業（業界情報担当）	取引先の様子	・輸出を中心とした主力車の販売好調を背景に、生産はフル操業を持続中である。売上高は計画を上回っているが、原油高に伴う原材料費の上昇や人件費の増加から利益は伸び悩んでいる。
		広告代理店（営業担当）	取引先の様子	・取引先で、パブル崩壊以降広告をストップしていた企業の回帰がみられる。
変わらない		化学工業（総務担当）	受注価格や販売価格の動き	・生産量、出荷量共に先月と大きな変化はなく全般的に高稼働率を維持している。物流費・原燃料費高騰の影響を受けながらも好景気(販売価格の上方修正等)の影響で利益が出ている。
		窯業・土石製品製造業（総務経理担当）	受注量や販売量の動き	・大口案件製造中であり、毎年1月は生産が減少するのだが高水準の操業を維持している。また、緊急の飛び込み注文もあり製造現場は多忙な状況が続いている。
		輸送用機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・自動車関連の業務下請が絶好調で、受注をさばききれない状態がずっと継続している。
		その他製造業〔スポーツ用品〕（総務担当）	受注価格や販売価格の動き	・依然として国内の販売状況がかんばしくない。そこで新商品の投入となるが、すると旧来の商品がなおさ動きにくくなる。
		建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・全国的には改善されているようだが、この地域は良くない状況が続いている。一部製造業は良いようだが、それがそのまま地域の景気を表してはいない。
		通信業（社員）	受注価格や販売価格の動き	・今年度の事業計画目標の確保に向けて努力しているが、少し落ち込んでおり厳しい。また、次年度計画目標を策定中であるが、既存業務では同様の受注は望めない。別メニューでの新たな提案をしていかざるをえない。
		通信業（営業企画担当）	受注量や販売量の動き	・通信事業者の提供するVPNサービスの販売量伸び悩みが続く一方で、従来の電話番号がそのまま使える光IP電話などインターネット活用サービスが家庭向けだけでなく企業等でも認識されつつある。このためイントラネット専用の高額・高品質データ通信サービスの価値が薄れつつある。
		不動産業（経営者）	取引先の様子	・部屋の空室率が高い状況が続いている。また、売買価額もまだ良い方向に向いておらず、動きも鈍い。
		会計事務所（職員）	取引先の様子	・製造業には全体的に活気がみられるものの、販売業は相変わらず苦戦している。地場の零細企業はどうしても大規模店にかなわないし、客もとられているのが現状である。
		やや悪くなっている		食料品製造業（総務担当）
一般機械器具製造業（営業企画担当）	受注量や販売量の動き			・堅調に推移していた海外向けの自社製品の売上が下降してきており、国内向けについても苦戦している。
輸送用機械器具製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き			・引き続き、受注量・受注価格とも横ばいのまま推移しており、また原材料等の購入価格も高止まりのままである。加えて社会保険料の負担増もあり、採算的には非常に厳しい状況が続いている。
建設業（営業担当）	取引先の様子			・デベロッパーより土地仕入れのための情報依頼は多くあるが、土地売却の情報は極端に少なく、土地の売買成立までいかない状況である。

		コピーサービス業（管理担当）	受注量や販売量の動き	・販売量の減少は一向に止まらない。
	悪くなっている	-	-	-
雇用 関連	良くなっている			
	やや良くなっている	人材派遣会社（支店長）	周辺企業の様子	・派遣業界における自動車メーカー・半導体メーカーなどの増産に伴う採用の動きは非常に活発である。
		人材派遣会社（担当者）	求人数の動き	・求人数が増加し、求職者が仕事を選ぶ時期に入っている。
		求人情報誌制作会社（担当者）	雇用形態の様子	・依然として人手不足感が企業にある。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数が、前年度より20%強増加している。特に卸売・小売業、医療・福祉においては、今春新設予定の事業所が多くあるため増加率が高い。
		職業安定所（雇用開発担当）	求人数の動き	・求人数はほぼ横ばいで推移しており、求職者数は減少傾向が続いていることから、求人倍率が上昇しつつある。
		民間職業紹介機関（職員）	求人数の動き	・地場ではその業界最大手の人事責任者から「経験・スキル」の相応の人であれば、「弊社のどの部門を希望してもよいので人材を紹介して欲しい。」と言われた。
		学校〔短期大学〕（就職担当）	求人数の動き	・地域企業の採用活動が活発化しており、これまで求人が少なかったいわゆる一般事務系についてもコンスタントに求人が出始め、前年同時期との比較では微増になっている。
	変わらない	職業安定所（職員）	求人数の動き	・求人はコールセンターなど情報サービス業や、アウトソーシング業から大量求人があった他は、いずれの業種も前年比で減少しており求人意欲が低い。このため、全体の求人数も前年比でわずかながら減少した。
		職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・地元大手製造業においては、今後従業員の中途採用を予定している企業がある一方、全国展開している地元飲食店において、最近の同業他社との競争の激化に伴い売上が減少し、事業縮小を余儀なくさせられる状況もみられる。
民間職業紹介機関（職員）		求人数の動き	・求人依頼数は鈍化傾向にあるが、依頼した役職に応募した人材が不採用になったものの、企業側から別の役職を逆提案されるケースがいくつかみられ、余力を感じている。	
やや悪くなっている	新聞社〔求人広告〕（担当者）	周辺企業の様子	・取引先の経営状況が依然深刻である。製造業は一部の業種を除いて操業状態は横ばい状態にある。	
悪くなっている	-	-	-	